

- 問1 紀元前1600年ごろに成立した中国の殷の都の跡からは、亀の甲羅や動物の骨に鋭い線で刻まれた原始的な文字が数多く出土しています。この文字が使用された主な目的として正しいものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
- 政治や軍事などの重要な事柄を決定するための占いの記録
 - 支配者の功績を後世に伝えるために青銅器の表面に鑄込むための装飾
 - 周辺諸国との交易を行う際の品目や数量を管理するための事務処理
 - 民衆に対して国家の法律や道徳を広く周知するための布告文
- 問2 古代メソポタミアにおいて、粘土板に文字を刻んで情報を記録する仕組みが発達した背景として、当時の社会状況をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
- 巨大な墳墓の壁面に、王の死後の世界を描いた物語を装飾として残す必要があったため
 - 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため
 - 亀の甲羅や動物の骨を焼き、そのひび割れの形から国の吉凶を占う儀式を重視したため
 - 仏教の教えを周辺諸国に広めるため、持ち運びが可能な軽い素材に経典を記す必要があったため
- 問3 紀元前3000年ごろ、西アジアのチグリス川とユーフラテス川の流域で栄えた文明は、肥沃な土地を利用して灌漑農業が行われ、粘土板に刻まれる楔形文字などの独自の文化を生み出しました。この文明の名称として正しいものを選択してください。 (2018年 高知県公立入試 類似)
- インダス文明
 - エジプト文明
 - メソポタミア文明
 - 中国文明
- 問4 日本の歴史における文化財や出来事について、年代の古いものから順に正しく並んでいるものはどれですか。鑑真が関わった唐招提寺の建立、重源らが中心となった東大寺の再建、足利義政による銀閣（慈照寺）の建立、石見銀山などの銀鉱山の開発、徳川家康を祀る日光東照宮の造営という5つのトピックの前後関係を基準に考えなさい。 (2015年 山口県公立入試 類似)
- 銀閣の建立 → 唐招提寺の建立 → 東大寺の再建 → 銀鉱山の開発 → 日光東照宮の造営
 - 唐招提寺の建立 → 銀閣の建立 → 東大寺の再建 → 日光東照宮の造営 → 銀鉱山の開発
 - 東大寺の再建 → 唐招提寺の建立 → 銀鉱山の開発 → 銀閣の建立 → 日光東照宮の造営
 - 唐招提寺の建立 → 東大寺の再建 → 銀閣の建立 → 銀鉱山の開発 → 日光東照宮の造営
- 問5 日本列島における、生活用具の出現や技術の発展について、古いものから順に正しく並べた組み合わせを選びなさい。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- 磨製石包丁 → 縄文土器 → 打製石器 → 須恵器
 - 打製石器 → 縄文土器 → 磨製石包丁 → 須恵器
 - 打製石器 → 磨製石包丁 → 縄文土器 → 須恵器
 - 縄文土器 → 打製石器 → 須恵器 → 磨製石包丁
- 問6 ティグリス川とユーフラテス川の流域で栄えたメソポタミア文明において、粘土板に刻んで使用された文字と、月の満ち欠けに基づき作られた暦の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- アルファベットと太陽暦
 - 甲骨文字と太陽暦
 - 象形文字（ヒエログリフ）と太陽暦
 - くさび形文字と太陽暦
- 問7 古代メソポタミア文明において、川のほとりで得られる粘土を板状にし、そこに葦（あし）などの茎の先を押し当てて刻まれた、独特の形状を持つ文字を何といいますか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
- 楔形文字
 - アルファベット
 - 甲骨文字
 - 象形文字
- 問8 群馬県にある岩宿遺跡の発見は、日本史の研究において非常に重要な意味を持っています。この遺跡が発見されるきっかけとなった出来事と、それによって明らかになった当時の状況の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
- 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。
 - 人物や動物をかたどった埴輪が大量に出土し、強力な権力を持つ王が存在していたことが判明した。
 - 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見され、当時の日本が中国の王朝と交流していたことが判明した。
 - 大規模な水田遺構が発見され、縄文時代から本格的な稲作が始まっていたことが証明された。
- 問9 紀元前3世紀、戦国時代の中国を初めて統一した人物は、北方の遊牧民の侵入を防ぐためにそれまでの防壁を連結・整備しました。この人物として正しいものを次の中から選びなさい。 (2024年 京都府公立入試 類似)
- フビライ・ハン
 - 孔子
 - 秦の始皇帝
 - 西郷隆盛
- 問10 イスラム教が成立した7世紀末から8世紀初め頃、日本では奈良県に高松塚古墳が造られました。この古墳の石室壁画には、古代中国の思想に基づき、方位を守る「四神（ししん）」と呼ばれる青龍・白虎・朱雀・玄武などの動物や、当時の人々の姿が描かれています。このような壁画の内容から、当時の日本が最も強く影響を受けていたと考えられる文化の地域はどこですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- インド
 - ローマ
 - ペルシャ
 - 中国
- 問11 アレクサンドロス大王の東方遠征によって、ギリシャの文化とオリエントの文化が結び付いて生まれた文化を何と言いますか。また、その文化の影響が、奈良県にある法隆寺のどのような場所に見られるとされていますか。正しい組み合わせを選んでください。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
- ルネサンス文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画
 - ヘレニズム文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画
 - ヘレニズム文化であり、法隆寺の五重塔に納められた塑像
 - ルネサンス文化であり、法隆寺の五重塔に納められた塑像
- 問12 紀元前5世紀頃の古代ギリシャの都市国家アテネにおいて確立された、市民が国政の重要事項を直接話し合って決定する政治体制を何と呼びますか。また、その意思決定を行う場の名称として正しい組み合わせを選びなさい。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- 貴族政を行い、元老院で決定した
 - 直接民主政を行い、民会で決定した
 - 独裁政治を行い、広場で決定した
 - 間接民主政を行い、議会で決定した
- 問13 古代エジプトでは、ナイル川の定期的な氾濫の時期を予測する必要から天文観測が発達しました。この文明で生み出された、1年を365日とする暦と、王の記録や寺院の壁画などに刻まれた象形文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- 太陽暦と甲骨文字
 - 太陽暦と神聖文字（ヒエログリフ）
 - 太陰暦と神聖文字（ヒエログリフ）
 - 太陰暦と楔形文字
- 問14 日本で最初の元号とされる「大化」が使われ、大化の改新などの国づくりが進められていた7世紀の西アジアにおいて、ムハンマドによって新しく開かれた宗教の名称を答えなさい。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- イスラム教
 - ヒンドゥー教
 - キリスト教
 - 仏教

答え合わせ・解説

問1	答え 1 政治や軍事などの重要な事柄を決定するための占いの記録	殷（商）の時代、王は神意を問う「占い」によって、戦争の成否や収穫の見通しなどの国政を決定していました。亀の甲羅や牛の肩甲骨に熱を加え、生じたひび割れの形によって吉凶を判断し、その結果を刻みつけたものが甲骨文字です。これは現在私たちが使用している漢字の直接の祖先にあたります。
問2	答え 2 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため	大きな河川の流域で農業が発展し、多くの人々が暮らす都市国家が形成されるようになると、蓄えられた余剰産物の管理や、遠方との交易の内容を正確に記録・保存する必要が生じました。文字は、複雑化した社会の運営や徴税を円滑に行うための実用的な統治ツールとして発明されました。
問3	答え 3 メソポタミア文明	チグリス川とユーフラテス川の二つの河川の間に位置する地域では、定期的な増水によって運ばれる肥沃な土壌を利用した農業が発展しました。この地域では楔形文字のほかに、太陰暦や六十進法が考案され、その後の文明に大きな影響を与えました。
問4	答え 4 唐招提寺の建立 → 東大寺の再建 → 銀閣の建立 → 銀鋺山の開発 → 日光東照宮の造営	奈良時代には唐の僧・鑑真によって唐招提寺が建立されました。鎌倉時代になると、源平の争乱で焼失した東大寺が重源らによって再建され、大仏様という建築様式が取り入れられました。室町時代（15世紀）には足利義政により東山文化の象徴として銀閣が建てられます。その後、16世紀（戦国時代から安土桃山時代）にかけて石見銀山などの銀鋺山開発が本格化し、江戸時代に入ってから徳川家康を祀る日光東照宮が現在の華麗な姿に造営されました。
問5	答え 2 打製石器 → 縄文土器 → 磨製石包丁 → 須恵器	日本列島の歴史において、まず旧石器時代に石を打ち欠いて作った打製石器が使われました。その後、縄文時代になると煮炊き用の縄文土器が登場し、弥生時代には本格的な稲作の普及に伴って稲の穂を摘み取るための磨製石包丁が普及しました。古墳時代には、朝鮮半島から伝わった技術により、高温の窯で焼かれた灰色で硬質の須恵器が作られるようになりました。
問6	答え 4 くさび形文字と太陰暦	現在のイラク付近を流れるティグリス川・ユーフラテス川の流域では、紀元前3000年ごろからメソポタミア文明が発達しました。この文明では、葦の茎などを削ったペンで粘土板に「くさび形文字」を刻んだほか、月の満ち欠けの周期を基準とした「太陰暦」が用いられました。また、円を360度としたり、時間を60分・60秒で区切ったりする「六十進法」が考案されたことも大きな特徴です。
問7	答え 1 楔形文字	ティグリス川・ユーフラテス川流域のメソポタミアでは、石材やバビルスが少なかった一方で、質の良い粘土が豊富に得られました。そのため、乾く前の粘土板に尖った道具を押し当てて記録する手法が発達しました。その刻み跡が「くさび」の形に見えることから、この名称で呼ばれています。
問8	答え 1 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。	岩宿遺跡の発見以前は、日本列島の歴史は縄文時代から始まると信じられていました。相沢忠洋が関東ローム層という更新世（氷河時代）に堆積した地層から打製石器を見つけたことで、土器出現前の古い時代に人類が活動していた証拠となりました。他の選択肢にある水田は弥生時代、金印や埴輪はそれ以降の時代の特徴です。
問9	答え 3 秦の始皇帝	紀元前221年に中国を初めて統一した秦の始皇帝は、強力な中央集権体制を確立しました。北方の騎馬遊牧民である匈奴（きょうど）の侵攻に備え、それまで各国が築いていた長城を修築・連結して「万里の長城」を完成させました。孔子は春秋時代の儒教の始祖、フビライ・ハンは13世紀の元（モンゴル帝国）の皇帝、西郷隆盛は日本の幕末から明治にかけて活躍した人物です。
問10	答え 4 中国	高松塚古墳の壁画に描かれた四神の思想や人物の服装は、当時の唐（中国）の文化の影響を強く反映したものです。この時期の日本は、遣唐使などを通じて大陸の高度な技術や思想、宗教、政治制度を積極的に導入し、国家の形成を進めていました。
問11	答え 2 ヘレニズム文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画	紀元前4世紀のアレクサンドロス大王の遠征をきっかけに、ギリシャの文化が東方のオリエント文化と融合してヘレニズム文化が誕生しました。この文化はシルクロードを通して東アジアまで伝わり、日本の飛鳥文化にも影響を与えました。法隆寺金堂壁画に見られる豊かな肉体表現などは、その代表的な事例として知られています。
問12	答え 2 直接民主政を行い、民会で決定した	古代アテネでは、市民が代表者を通さず自ら政治に参加する「直接民主政」が発達しました。この意思決定の中心となったのは、全市民が参加資格を持つ「民会」と呼ばれる機関です。現代の多くの国で採用されている代表制（間接民主政）とは異なり、自分たちで直接投票を行う仕組みでした。
問13	答え 3 太陽暦と神聖文字（ヒエログリフ）	ナイル川の氾濫はエジプトの農業に不可欠であり、その時期を正確に知るために太陽の動きを基にした太陽暦が作られました。この暦は後にローマで採用され、現在の暦の基礎となりました。また、ピラミッドや神殿の壁面に刻まれた文字は、象形文字の一種である神聖文字（ヒエログリフ）と呼ばれます。選択肢にある太陰暦や楔形文字はメソポタミア文明、甲骨文字は中国文明の特徴です。
問14	答え 1 イスラム教	7世紀の西アジアでは、ムハンマドが唯一神アッラーの教えを説くイスラム教を創始しました。この時期の日本は飛鳥時代にあたり、聖徳太子の政治や大化の改新（645年）が行われていた時代と一致します。シャカによる仏教やギリシャのポリス形成は紀元前の出来事であり、イエスによるキリスト教の成立は1世紀のことです。